

所属・資格 社会福祉学科・准教授

申請者氏名 久保田 純

研究課題		地方自治体で働く「社会福祉行政職」のソーシャルワーク専門性に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>「地域共生社会」や「包括的相談支援体制」の構築を目指す現代社会の社会福祉において、地方自治体で働く「社会福祉行政職」の役割が強く期待されている。その一方で「社会福祉行政職」のソーシャルワーカーとしての専門性は、学術的にも実践現場においても統一した見解が示されていない現状にある。</p> <p>本研究では、長年専門職として採用している自治体の「社会福祉行政職」に対してのインタビュー調査を実施し、「社会福祉行政職」の「職業アイデンティティ」を明らかにすることで、今後の「社会福祉行政職」のあり方の議論に寄与することを目指す。具体的には、1)「社会福祉行政職」に関する資料分析、2)「社会福祉行政職」の実態・採用方法などのアンケート調査、3)「社会福祉行政職」の「職業アイデンティティ」に関するインタビュー調査を踏まえ、4)「社会福祉行政職」の専門性に関する理論構築を行うこととして、今年度は特に2)の研究について進めていく。</p>
	研究の結果	<p>今年度は前年度の「社会福祉行政職」に関する資料分析結果を踏まえ、「社会福祉行政職」の実態・採用方法などのアンケート調査を実施した。具体的には先行する調査として陣内（2023）が行った神奈川県内市町村を対象とした「社会福祉行政職」の採用と配置に関する調査があるため、関東地方全域における「社会福祉行政職」を対象を拡大し、関東地方全ての都道府県庁、政令指定都市役所、市役所を対象にアンケート調査を実施することとした。本調査で使用した調査票は、地方自治体での社会福祉関連部署における配置状況や相談支援業務の捉え方、「社会福祉行政職」の専門職採用の状況、社会福祉関連部署の職員の採用に関わる体制、社会福祉関連部署の職員の人材育成の状況を明らかにするため、これらの状況を把握できる項目を設定した。調査票では、多肢選択式（5件法ないし4件法）を主とした質問項目を、最大で30の設題で構成した。調査期間は2024年9月24日（調査票発送日）～10月31日（調査票返送締切日）とした。</p> <p>回収状況としては、有効送付数は186通であり、回収された調査票77通のうち、無効票は1通で、有効回収数は76通だった。有効回収率は40.8%である。有効回収票の特性としては、担当地域の人口や職員数の分布が全国の分布と酷似しており、十分に分析に耐えるデータと考えることができた。</p>
	研究の考察・反省	<p>上記のアンケート結果から、59%の自治体が社会福祉専門職の採用をしており、23%が過去に採用を実施したことがあることが判明した。また今後の社会福祉職の採用についても、45%が積極的に採用したい、49%がいい人がいれば採用したいと回答しており、多くの自治体が社会福祉専門職の採用を前向きに考えていることが明らかとなった。また自治体内の相談支援業務に関して、「負担感」「倫理観」「経験年数の必要性」「専門知識の必要性」「効率性」「技能伝承」などの項目全てにおいて、他の一般行政業務と差異を感じていることも明らかとなった。一方で、相談支援業務を実施している部門の中で社会福祉専門職の割合が著しく低かったり、社会福祉専門職の採用を始めたものの採用人数が少なく、どのように自治体の中で社会福祉専門職の育成をしていけばいいかわからない自治体も多く存在することが明らかとなった。</p> <p>現時点では単純集計のみであり、今回のアンケート調査での回答項目について、それぞれの因子の関係性はまだ明らかにできていない。今後統計処理を行なっていくことで、それぞれの因子の関係性を明らかにし、地方自治体における「社会福祉行政職」の現状に関しての要因分析を実施する必要があると考える。</p> <p>また次年度以降に関しては、長年社会福祉専門職採用を継続している地方自治体に調査対象を絞り、歴史的な背景を明らかにしながら、インタビュー調査を通して「社会福祉行政職」が長年の実践を踏まえて構築してきた「職業アイデンティティ」について明らかにしていきたい。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>今年度は上記の地方自治体に対する「社会福祉行政職」の配置と採用に関する調査を実施し、現在分析と考察を実施しており、年度中の公表には至らなかった。</p> <p>この調査に関しては、次年度に単純集計結果を「研究ノート」として、またそれぞれの因子の関係性についての統計処理分析結果に関して「論文」としてまとめ、それぞれ学会誌に投稿する予定である。</p>	